

認知症患者との より良い関係を目指して

いるか薬局 実習生 近畿大学薬学部 津川友里

目的

- ・高齢者の増加とともに、認知症患者が増加
- ・コロナ禍で在宅医療が増加し、薬局薬剤師が認知症患者と接する機会が増加



認知症患者とのより良い関係を目指して、実際に介護者に話を聞き、環境作りやコミュニケーションの仕方を学ぶ

認知症とは

正常に発達した「記憶」「学習」「判断」「計画」などの脳の知的機能が、障害によって働きに不具合が生じ、日常・社会的生活に支障をきたす状態

	加齢による物忘れ(正常)	認知症
忘れ方	体験したことの一部を忘れる	体験したことの全体を忘れる
自覚	物忘れをしている自覚がある	物忘れをしている自覚がない
日常生活	支障はない	支障がある
進行	悪化は見られない	悪化していく

認知症とは

・症状

記憶障害・・・何度も同じことを尋ねる、食事をした、どこかへ出かけたことを忘れる

見当識障害・・・時間や季節感の感覚が薄れる、親しい人物が誰か分からない

理解・判断力障害・・・考えるスピードが遅くなる、2つ以上のことが上手く処理できない

遂行機能障害・・・人に指示をしてもらわないと出来ない、約束の時間に間に合わない

社会的行動障害・・・自己中心的になる、思い通りにならないと大声を出す

・対象者

軽度～中等度の認知症患者の自宅介護者、理学療法士
(病院勤務)、介護士(老人ホーム勤務)

- ①認知症患者への声のかけ方
- ②認知症症状の具体例と解決方法
- ③認知症進行予防への取り組み
- ④薬剤師への意見要望

①認知症患者への声のかけ方

- ・後ろから話しかけても気づかない

 - 後ろから肩を叩いたり、手を掴んだりすると不安感が増す

 - 患者の前に回り込み、視線の高さを合わせ、目が合ってから声かけを行う

- ・聞き取りによる理解が難しい

 - なるべく視覚認知を増やす

- ・2つ以上のことを上手く処理できない

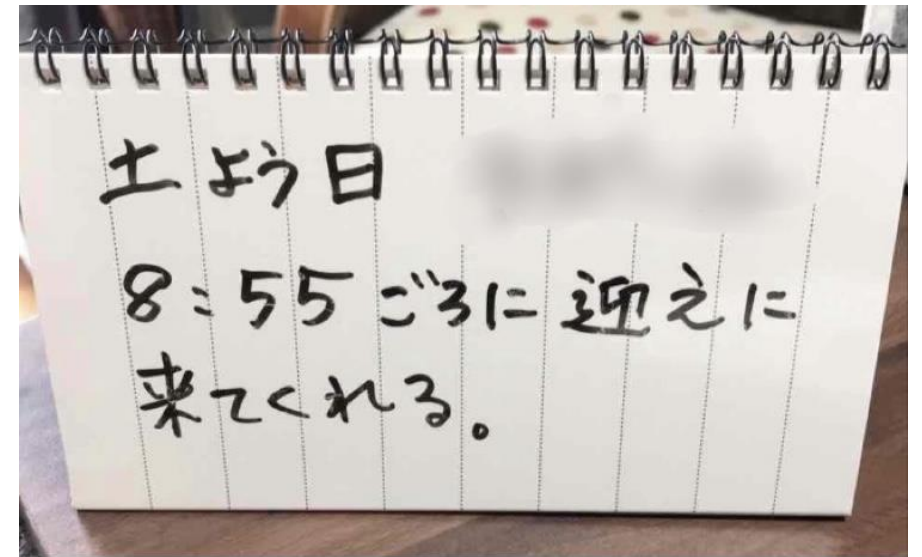
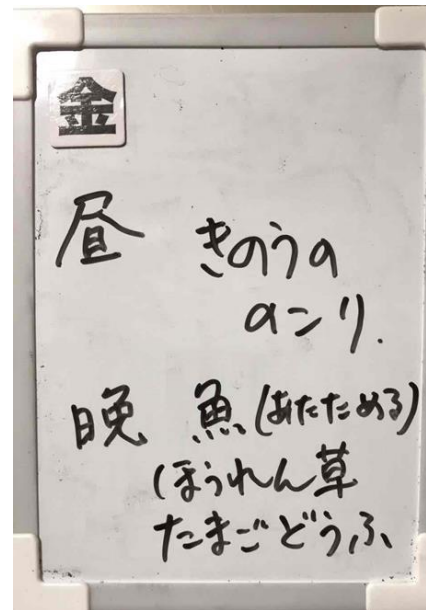
 - 伝達事項を一つに絞る

②認知症症状の具体例と解決方法

1、視覚による伝達

今日は何日？何曜日？ご飯何？と毎日聞いてくる

→目に付くところにメモ書き



② 認知症症状の具体例と解決方法

2. 会話を合わせる

壁に団子が刺さっている、魚が落ちている(幻覚)

取ってあげるね

介護者(娘)に「どちらさん？」

奥さんに頼まれて来てます

仕事行かないと

仕事場には休む連絡しておいたよ



② 認知症症状の具体例と解決方法



家に帰る

さようなら、またね
帰る前に、今料理してるんだけど、ちょっと教えて

魑魅魍魎が見える

何もイタズラしないから怖くないよ

飲み物ください(水分制限あり)

今沸かしてるから待っててね



②認知症症状の具体例と解決方法

3. 夜間活動する患者への対応

- 運動で生活リズムを整える
- 時間的感覚を意識させる



③認知症進行予防への取り組み

1. 役割をつくる

- ・ペットを飼う

- ・家事や仕事を任す

→少々の事は目をつぶって、本人に任せる

小さくても達成感を持ってもらう

2. 外出や交流を増やす、用事をつくる

- ・外出を促すような声掛け

- ・出かけるところをつくる

→今日行く・今日用

④薬剤師への意見要望

一包化やお薬カレンダーを作成してもらってから、患者一人で服薬することが出来るようになりました。ただもう少し一包化加算を安くしてほしいです。

患者がお薬カレンダーの中身を入れ替えてしまった時に、薬剤師に連絡するとすぐに家まで駆けつけてくれました。

患者が既に薬を受け取ったことを忘れ、他院でも重複受診し処方箋を受け取る。それに薬剤師が気付いてくれました。

感想

患者の意見を否定せずに寄り添うのが良いが、なかなか実際には難しい



介護者だけで抱え込まない

家族や親戚、デイサービス、ケアマネ、主治医、近所の人

たくさんの方の手を借りる

十薬剤師

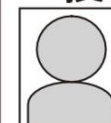
松原市の取り組み

- ・認知症サポーター養成事業、介護者家族会、脳トレ教室などの開催
- ・松原市認知症初期集中支援チーム(オレンジまつばら)
- ・高齢者110番
- ・南河内圏域市町村徘徊高齢者SOSネットワーク
- ・高齢者のなんでも相談



(イメージ)

捜しています



当時の服装
身体的特徴
性別 年齢

いなくなった場所

発見された方は
最寄の警察署まで

発信元
発信日 年 月 日

松原市高齢者見守り安心ネットワーク

